

1861

第 五 二 號

陸密  
以下

大臣ヨリ 参謀總長及教育總監へ照會案

首題ノ件別紙ノ通起案シタルニ付異存ナクバ令達致度照會ス

陸密第一七六二號 昭和十四年十月十一日

石異存ナキ回答アリタル後

留守第二、留守第十二師團長及第十三師團長(支那事變  
道軍)

第十八師團長(支那事變  
道軍)へ達案

昭和十四年徵集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業者、特  
業修業者、工務兵修業者ノ定員ヲ左記ノ通定ム

左記

昭和十四年徵集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業者、特  
業修業者、工務兵修業者ノ區分及定員ハ昭和十四年陸支機密第二十  
六號附表第三ニ據ルモノトス

陸密第一七九〇號 昭和十四年十月十八日

陸軍

副官ヨリ參謀本部及教育總監部庶務課長へ通牒案  
首題ノ件別紙ノ通十月十八日陸密第一七九〇號ヲ以テ關係部隊へ達  
セラレタルニ付通牒ス

註 石月日番號ハ前記達文ノ發令月日番號ヲ記入ノコト

陸密第一七九一號 昭和十四年十月十八日

参考

昭和十四年陸支機密第二十六號ハ第31乃至第37  
師團編成並満洲派遣留守師團編制改正要領  
細則ナリ

別紙

陸

軍

陸軍第號

昭和十四年後集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業修業者、工務兵修業者定員ニ關スル件

昭和十四年 月 日 陸軍大臣

及第十三師團長(中支那派遣軍)

註

一、本連八歩兵聯隊連隊隊及營（山）砲

師團要員ノ分業者、特業修業

兵種修業者中數ノ第ニハ適用セサム

定ム

モノトス

へ達案

二、搜索警衛ノ速射砲手、自動車手及機

車手ノ教育ハ陸軍騎兵學校ニ於テ

其國要員ノ分業者、特業修業

兵種ノ規定

昭和十四年陸文機密第二十六號

國籍第  
號

昭和十四年徵集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業修業者、工務兵修業者定員ニ關スル件

昭和十四年 月 日

陸軍大臣

留守第二、留守第十二師團長及第十三師團長(中止第  
經)、第十八師團長(第二十一軍)へ達案  
由

昭和十四年徵集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業修業  
者、工務兵修業者ノ定員ヲ左記ノ通り定ム

左記

昭和十四年徵集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業修業  
者、工務兵修業者ノ區分及定員ヘ昭和十四年陸支機密第二十六號  
附表第三ニ準スルモノトス

1986



陸軍本部營參密第四四三號第二



軍

陸軍大臣 畑 俊六 殿



1867

首題ノ件ニ關シ昭和十四年十月十一日陸密第一七六二號ヲ以テ照會  
ノ趣異存ナシ

日本標準規格 B-5

1987

教育第一三三四號

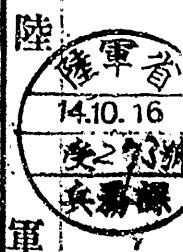
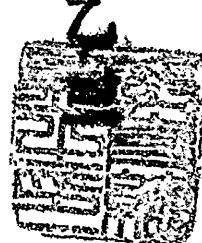
昭和十四年徵集兵中第十三及第十八師團要員ノ分業者、特業者  
特業修業者、工務兵修業者定員ニ關スル件回答

昭和十四年十月十四日

教育總監 山田 乙

陸軍大臣 番 俊六 謹

昭和十四年十月十一日附陸密第一七六二號ニ捺リ照會ニ保ル旨題  
ノ件異存無之



1858



開

1989

三

軍令部文書三



電報譯

10月  
5日午前

後11時

40分著

(6)



陸

軍

第一號

陸軍省副官宛 發信者 南支中山第十八師團參謀長

陸軍省第一九〇號 依ル 昭和十四年度徵集兵中  
介業者、特業修業者、工務兵、修業者定員表  
(昭和十四年陸支撥宿第ニ號附表第三)ハ當年  
圖ニ配布セラレアラズ急に送付セラシ度

(終)

昭和四年八月廿七日 駕籠附文書